

# 国際政治

162

## ボーダースタディーズの胎動

日本国際政治学会編

ボーダースタディーズの胎動	岩 下 明 裕
「ボーダーフル」な世界で生まれる「ボーダーレス」な現象	鈴 木 一 人
スターリン 「国境の男」	デイヴィッド・ウルフ
戦後初期台湾における脱植民地化の代行	楊 子 震
湾岸諸国における国境と国家の存立構造	掘 抜 功 二
アマゾン、安全保障と開発	澤 田 眞 治
グローバル化時代におけるトランスナショナルな被害者運動	古 内 洋 平
北朝鮮をとりまく境界	三 村 光 弘
島嶼と境界	長 嶋 俊 介
<hr/>	
日米関係の変容と原子力開発問題	武 田 悠
<hr/>	
< 書評論文 >	
グローバル・ガバナンスと国際レジーム研究の諸相	赤根谷 達 雄
<hr/>	
< 書 評 >	
フィリップ・G・レーダー著 『ネーションステイトはどこから来たのか?』	笹 岡 伸 矢
武内進一著 『現代アフリカの紛争と国家』	落 合 雄 彦
中野亜里著 『ベトナムの人権』	小 嶋 華 津 子
青山弘之・末近浩太著 『現代シリア・レバノンの政治構造』	溝 淵 正 季
モニカ・ササテッリ著 『ヨーロッパ人になるということ』	篠 原 瑞 枝

2010年12月刊